

院生ライフレポート

入学して2か月が経ち、院生同士だいぶ打ち解けてきて、楽しく充実した大学院生活を過ごしています。最近の休み時間の院生室の様子は、現職の院生のご家庭にお子さんが誕生されたことを一緒に喜んだり、院生の誕生日を互いに祝ったりと、笑顔に溢れています。

授業では、講義を聴いたり、ディスカッションをしたりするだけでなく、テーマを決めて皆の前で発表をすることが多くなってきました。発表するテーマについてより深く理解し、分かりやすく伝えるように、多くの時間を使って準備をしています。そのような努力が、お互いに良い影響を与え、院生同士で高め合っているように感じます。また、大学院の先生方とも、コミュニケーションをとる機会が増え、貴重なお話を聴くことで、知見を広げることができています。

今月号では、必修の共通科目の中で、前回紹介できなかった3つの授業についてご紹介します。

水曜2限目 現代的な学力観と授業実践の基礎と課題 (野田先生・米田先生)

この授業では「学校教育(特に、学習・学力・評価)を懐疑的に見る」を基本コンセプトとして様々な学習法などを学んでいます。写真は現職学生が自身の学校の授業を紹介する場面です。よりよい授業づくりについて、皆で考えたり、意見を出し合ったりしています。



木曜3限目 子どもの学ぶ意欲の基礎と課題 (井邑先生・木田先生)

「子どもの学習意欲の仕組みと指導法」を科学的な知見で学ぶことを目指した科目です。児童生徒の学習を後押しするには、どのような働きかけが重要かを学んでいます。子どもたちの学習意欲を引き出すための効果的な言葉かけなどをグループ活動で話し合いながら学び、実践で活用できるようにします。



金曜2限目 教育課程編成の基礎と課題 (後藤先生・野田先生)

各校種の教育課程編成やカリキュラム実践を扱う授業です。様々な理論を学ぶとともに、県内における実際の学校での事例を見てきました。これから各校種に分かれて、学校運営のシミュレーションを始めます。授業で学んだ理論を生かしながら、仮定の学校づくりを目指します。

